

輸出事業計画

※申請者名：四日市商工会議所、

品目：コメ、酒類、加工食品

1. 輸出における現状と課題

現 状

四日市市と中国天津市との友好都市関係における経済交流協定の締結を契機に、北京市や天津市に向けた食品を含む地場産品の輸出促進活動に取り組んでいる。日本産食品を中国に輸出する国内の専門商社と組み、中国輸出に適した商品改良の支援や現地での販促イベントの開催や展示会への出展など、現地ニーズを踏まえ、場所や内容を変えながら継続した活動を行っている。そして、昨年から米国、シンガポール、ベトナム、マレーシア、インドネシア、台湾、フランスを新たなターゲット国として加え、輸出促進活動に取り組むこととした。

課 題

日本から中国へは様々なルートで食品が入っており、食の輸出は増加していることから商品の現地での産地間競争も激化しており、商品の定番化、輸出の継続が難しい状況にある。その中で当市の地域産品をいかに差別化していくか、ということが大きな課題であり、加えて輸出商品、輸出量を拡大していくためには、より多くの国に向けた海外販路開拓に取り組むことが必要。

2. 輸出事業計画の取組内容

①国内商社とのパートナーシップ構築

国内商社と強固なパートナーシップ関係を構築し、さらには当該商社経由でそのバイヤー企業との協力関係も築き、地域の食品メーカーと商社、バイヤーとの繋ぎ役を当所が担い、実効性のある海外販路開拓に向けた取り組みを展開する。

②輸出ターゲット国の拡大

米国とシンガポールを新たな支援対象国とする。今後生産年齢人口比率が高くなり、有望な市場として成長が見込めるベトナムとマレーシアも支援対象国として追加していく予定。

③海外バイヤーの招聘

パートナー商社との共同企画でバイヤーを招聘し、産地見学を行う。

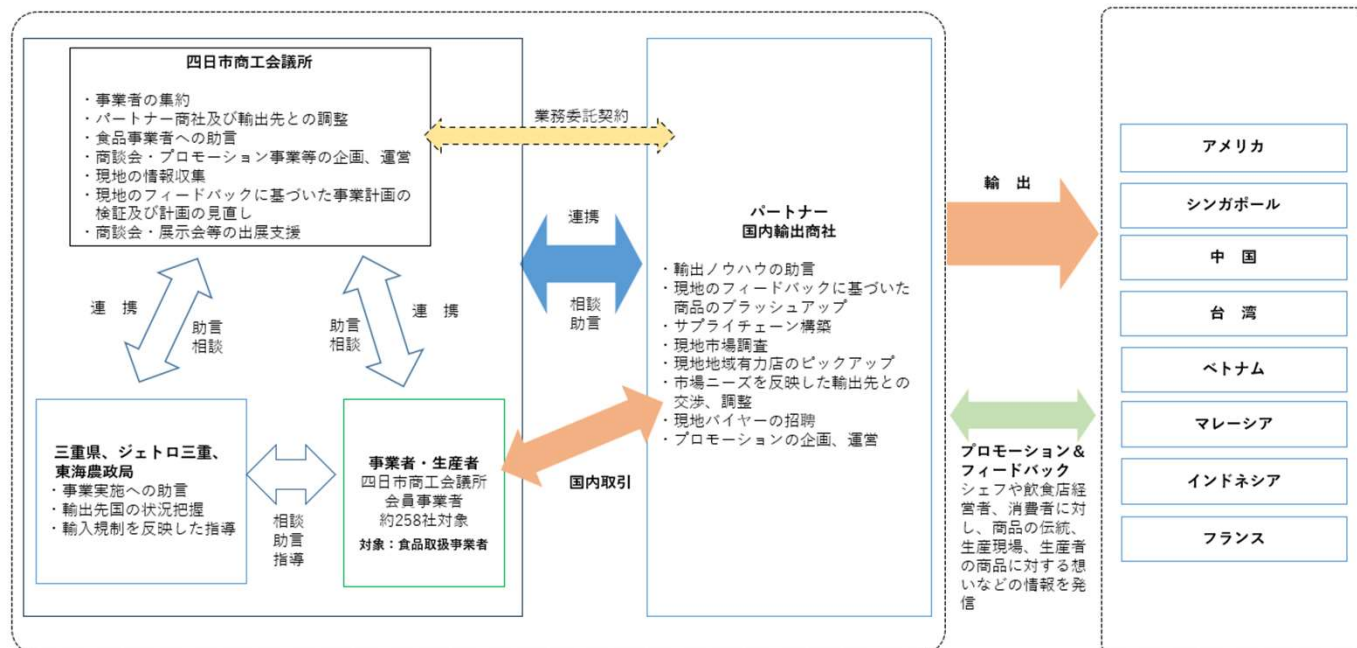
④海外プロモーションや営業活動の実施

現地のローカルレストランやスーパーの経営者やスタッフ、シェフ、顧客を対象に、商品特徴、製造者・生産者のこだわりや思い、産地の風土や文化をパッケージにしたプロモーションを実施し、商品の継続購入を促す。

⑤FOODEX JAPANへの出展

アジア最大級の商品・飲料展示会「FOODEX JAPAN」へ出展し、販路拡大を図る。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



輸出事業計画

※申請者名：四日市商工会議所、

品目：コメ、酒類、加工食品

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

PLAN（計画）

- ・パートナー商社からの現地ニーズ等の情報収集
- ・プロモーション活動、商談機会の確保等の計画策定
- ・事業スケジュールの策定

DO（実行）

- ・バイヤー招聘
- ・現地プロモーションの実施
- ・展示会への参加
- ・各国輸入規制に合わせた商品の調整
- ・サプライチェーンの構築

ACTION（改善）

- ・改善内容の検討
- ・現地販売状況及びニーズを反映した商品のブラッシュアップ
- ・検証結果を踏まえた取組内容の見直し
- ・サプライチェーンの改善

CHECK（検証）

- ・現地での販売状況の把握
- ・現地のニーズ検証
- ・国内展示会でのバイヤーの反応、商品評価の検証
- ・取組事業の効果検証

4. 輸出目標額

加工食品	現状 (令和4年度)	令和7年度
輸出額 (千円)	0	12,648
輸出先国		中国 米国 フランス マレーシア インドネシア シンガポール ベトナム

酒類	現状 (令和4年度)	令和7年度
輸出額 (千円)	0	13,000
輸出先国		中国 台湾 米国 シンガポール

コメ	現状 (令和4年度)	令和7年度
輸出額 (千円)	0	7,000
輸出先国		シンガポール ベトナム マレーシア